



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本精鉱株式会社

コード番号 5729 URL <http://www.nihonseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木嶋 正憲

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 企画管理部長

(氏名) 渡邊 理史

TEL 03-3235-0021

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日

平成26年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	6,558	8.5	461	16.0	454	14.8	288	19.2
26年3月期第2四半期	6,045	△3.5	397	△5.6	396	△1.4	241	△3.5

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 293百万円 (17.5%) 26年3月期第2四半期 250百万円 (1.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	23.60	—
26年3月期第2四半期	19.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	10,768		4,786			44.5
26年3月期	10,685		4,562			42.7

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 4,786百万円 26年3月期 4,562百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年3月期	—	5.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,600	4.5	710	5.6	690	5.5	410	3.5	33.56

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	13,029,500 株	26年3月期	13,029,500 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	814,741 株	26年3月期	813,368 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	12,215,511 株	26年3月期2Q	12,217,867 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（以下「当第2四半期」という）におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融政策などにより、企業業績や雇用の改善がみられ、緩やかな景気回復の動きが続いています。しかしながら、消費税率引き上げの影響や、海外においては、新興国経済の減速や地政学的リスクの影響などもあり、景気の先行きについては、依然として不透明な状況にあります。

このような環境下、当社グループは国内外での販売強化に努め、アンチモン事業、金属粉末事業ともに、前年同期比で増収となりました。

その結果、当第2四半期の売上高は前年同期比513百万円増収（8.5%増収）の6,558百万円、営業利益は63百万円増益（16.0%増益）の461百万円、経常利益は58百万円増益（14.8%増益）の454百万円、四半期純利益は46百万円増益（19.2%増益）の288百万円となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

[アンチモン事業]

同事業の原料であり、製品販売価格の基準ともなるアンチモン地金の国際相場は、横ばい基調から、7月中旬以降は緩やかな下げ基調に転じています。当第2四半期の平均はトン当たり9,505ドルで、前年同期の10,142ドルに比して6.3%ダウンとなりました。円建てでは2.3%のダウンとなりました。

同事業の販売状況につきましては、自動車部品向け販売などが堅調であったことと中国法人での販売が寄与し、販売数量は、前年同期比420トン増加（14.0%増加）の3,414トンでありました。

その結果、同事業の当第2四半期の売上高は、販売数量の増加により、224百万円増収（6.5%増収）の3,677百万円となりました。セグメント利益は、67百万円増益（70.4%増益）の164百万円となりました。

[金属粉末事業]

電子部品向け金属粉につきましては、好調なスマートフォン関連需要に支えられましたが、その他の需要では競合が激しくなっている影響を受けました。自動車部品向けが主用途である粉末冶金向け金属粉につきましては、好調に推移しました。

用途別の販売状況の実績につきましては、電子部品向け金属粉は、前年同期比27トン減少（7.1%減少）の346トンとなり、粉末冶金向け金属粉は、前年同期比105トン増加（13.5%増加）の887トン、全体の販売数量は、前年同期比79トン増加（6.8%増加）の1,233トンでありました。

その結果、同事業の当第2四半期の売上高は284百万円増収（11.0%増収）の2,869百万円となりました。セグメント利益は、3百万円減益（1.4%減益）の279百万円となりました。

[その他]

当第2四半期不動産賃貸事業の売上高は10百万円（前年同期比59.9%増収）、セグメント利益は10百万円（前年同期比64.4%増益）でありました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は6,661百万円となり、前連結会計年度末と比べ276百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が167百万円減少いたしました。受取手形及び売掛金が284百万円、原材料及び貯蔵品が182百万円増加したことによるものであります。固定資産は4,104百万円となり前連結会計年度末に比べ192百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が103百万円減少したこと及び投資その他の資産が93百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、10,768百万円となり、前連結会計年度末と比べ83百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,698百万円となり、前連結会計年度末と比べ73百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が101百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,283百万円となり前連結会計年度末に比べ215百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少172百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、5,981百万円となり、前連結会計年度末と比べ141百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は4,786百万円となり、前連結会計年度末と比べ224百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が四半期純利益により288百万円増加したこと及び配当により61百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は44.5%（前連結会計年度末は42.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化などにより、自動車部品及び電子部品市場における需要の減少が懸念されますので、平成26年5月15日に発表いたしました平成27年3月期の通期の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結累計期間より、日錫精礦（上海）商貿有限公司は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,465,032	2,297,219
受取手形及び売掛金	1,810,231	2,094,346
商品及び製品	1,208,028	1,195,593
仕掛品	185,574	182,368
原材料及び貯蔵品	642,561	825,154
その他	79,507	73,672
貸倒引当金	△5,775	△6,592
流動資産合計	6,385,160	6,661,762
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,267,774	1,226,617
機械装置及び運搬具(純額)	937,163	883,368
土地	1,478,590	1,478,590
その他(純額)	66,792	57,836
有形固定資産合計	3,750,321	3,646,414
無形固定資産	59,452	64,112
投資その他の資産	487,332	393,942
固定資産合計	4,297,106	4,104,469
繰延資産	3,016	2,261
資産合計	10,685,283	10,768,493

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,146,542	1,248,186
短期借入金	1,841,900	1,865,200
未払法人税等	152,620	153,659
賞与引当金	89,114	86,408
その他	394,121	344,765
流動負債合計	3,624,298	3,698,219
固定負債		
社債	246,000	232,000
長期借入金	1,798,000	1,625,500
退職給付に係る負債	313,730	296,796
資産除去債務	34,826	35,046
その他	106,141	94,152
固定負債合計	2,498,698	2,283,494
負債合計	6,122,997	5,981,714
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,126	1,018,126
資本剰余金	564,725	564,725
利益剰余金	3,133,067	3,352,515
自己株式	△147,286	△147,738
株主資本合計	4,568,633	4,787,628
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,346	△1,841
為替換算調整勘定	—	991
その他の包括利益累計額合計	△6,346	△849
純資産合計	4,562,286	4,786,779
負債純資産合計	10,685,283	10,768,493

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	6,045,202	6,558,220
売上原価	5,219,577	5,653,719
売上総利益	825,625	904,500
販売費及び一般管理費	428,056	443,182
営業利益	397,569	461,317
営業外収益		
受取配当金	1,524	1,841
負ののれん償却額	787	—
為替差益	20,829	4,753
受取保険金	206	9,833
助成金収入	450	801
その他	6,228	3,907
営業外収益合計	30,024	21,136
営業外費用		
支払利息	20,223	20,380
その他	11,068	7,206
営業外費用合計	31,291	27,586
経常利益	396,302	454,867
特別利益		
固定資産売却益	—	241
特別利益合計	—	241
特別損失		
固定資産除却損	2,073	324
特別損失合計	2,073	324
税金等調整前四半期純利益	394,229	454,785
法人税、住民税及び事業税	157,293	159,256
法人税等調整額	△4,897	7,208
法人税等合計	152,396	166,465
少数株主損益調整前四半期純利益	241,833	288,319
四半期純利益	241,833	288,319

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	241,833	288,319
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,252	4,505
為替換算調整勘定	—	991
その他の包括利益合計	8,252	5,496
四半期包括利益	250,086	293,816
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	250,086	293,816

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	3,453,140	2,585,194	6,038,335	6,867	6,045,202	—	6,045,202
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	19,565	19,565	—	19,565	△19,565	—
計	3,453,140	2,604,760	6,057,900	6,867	6,064,768	△19,565	6,045,202
セグメント利益	96,533	283,181	379,715	6,402	386,118	11,450	397,569

- (注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。
2. セグメント利益の調整額11,450千円はセグメント間取引の消去11,450千円であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

- II 当第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	3,677,580	2,869,660	6,547,240	10,979	6,558,220	—	6,558,220
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	23,689	23,689	—	23,689	△23,689	—
計	3,677,580	2,893,349	6,570,930	10,979	6,581,909	△23,689	6,558,220
セグメント利益	164,453	279,285	443,738	10,524	454,262	7,054	461,317

- (注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。
2. セグメント利益の調整額7,054千円はセグメント間取引の消去7,054千円であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。